

WS 11	絵画を楽しむ ＜ 後期 ＞				※実技が中心
	【定員】 25名 【受講料】 2年・1年会員・聴講生ともに31,250円 （人物画モデル代等として5,000円を含みます）				
	【美術】 芸術 ワークショップ 【時間】 毎回17時00分～19時30分（計10回）				
概要	初心者から経験者も含めて、油彩と水彩を深く楽しむ講座です。絵画材料について理解し、1 回ごとの描画プロセスを着実に積み重ねて進めて行きます。みずからの感覚をとおして観察し描くことで、創造の喜びを発見することでしょう。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容		講師名(敬称略)
1	10/8(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	クロッキー	男性ダンサーの速描。クロッキー帳またはA3（297×420）の紙25枚	NHK文化センター講師 佐藤 道子
2	10/15(水)		静物	1 構図の決定、明暗をともなった下素描をします。絵の具によるキアロスクーロ（単色の明暗対比表現）	
3	10/22(水)			2 背景とモチーフの関係を意識しながら大きな見方で描き始めます。	
4	10/29(水)			3 固有色を観察し、立体感を見ながら大きいタッチで絵の具をしっかりと塗っていきます。	
5	11/12(水)		人物 (着衣)	1 構図の決定と下素描。人体の比例、動き、量感を捉えます。単色彩色によるキアロスクーロで大まかな明暗を施します。	
6	11/19(水)			2 大きな色彩の分布に注目して立体感や空間感を表していきます。	
7	11/26(水)			3 感じた色調を求めながら伸び伸びした大きな筆致で塗りましょう。	
8	12/3(水)		人物 (裸婦)	1 構図の決定と下素描。人体の比例、動き、量感を捉えます。単色彩色によるキアロスクーロで大まかな明暗を施します。	
9	12/10(水)			2 色彩と形態を観察しながら感じたものが表われるように思いきって絵の具を塗りましょう。	
10	12/17(水)		講評会	これまで描いた作品についての受講生のスピーチと、講師の講評を行います。	
連絡 事項	10/8（第1回）から実技を行います。必要な持ち物は、受講決定通書知に同封してご案内いたします。				